

セルフモニタリング報告書（令和6年度分）

令和 7 年 4 月 21 日

施設名：労働福祉センター
 指定管理者名：公益社団法人苫小牧市シルバー人材センター
 所管課名：産業経済部 工業・雇用振興課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
1 事業計画の達成度						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画に基づき適切に実施した。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。		-	-	-	-	-
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。	労働団体等の堅実な利用と確定申告会場として広く利用された。	A	B	C	D	E
自主事業は計画どおり行われたか。	写真展を開催したほか、館内放送を利用して来館者に軽音楽を提供した。 また、ハローワークからの求人情報を来館者が閲覧できるように掲示し、雇用創出に協力した。	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	歩道の除雪や清掃等を行うことを通じて地域の協働・連携に努めた。	A	B	C	D	E
2. 利用者の満足度						
利用者の満足が得られているか。	会場設営・後片付け・時間延長使用・駐車場整理等、利用者の要望に応じた運営を行った。	A	B	C	D	E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	アンケート調査を実施するとともに「ご意見箱」を設置し、利用者の意見・要望の把握に努めた。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	大規模設備改修を除き、必要な対応は十分に行った。	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	当センター従事者が常勤し、節電・除雪・暖房管理をし、修繕も可能な限り自ら行った。	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	業者の選定は特殊業務を除き、複数の中から最適な業者を選定した。 また、日常清掃や施設・物品の修繕の大部分を当センター従事者が行った。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	利用者へ最大限の便宜を図り、繰り返し利用してもらえるように取り組んでいる。	A	B	C	D	E
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	消火器の使い方を含む自衛消防訓練を年2回、接遇研修1回を行い、スタッフの能力向上に取り組んだ。	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	施設利用者参加の自衛消防訓練を実施するとともに、除雪を徹底し、施設の修繕を適切に行い、事故防止に努めた。	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適材適所にセンター従事者を配置した。	適		不適		

施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	施行規則第7条及び第10条に基づき適切に処理した。	適					不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	苫小牧市個人情報保護条例及び苫小牧市情報公開条例に従い適正に行った。	適					不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	シルバー人材センター財務規程に基づき適正に処理した。	適					不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	設置業者、管理業者に再委託して適正に行った。	適					不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	書類はシルバー人材センター事務規定に従い、備品等は保守点検委託、または修理し適正に管理した。	適					不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法令、協定書に基づき管理運営マニュアルを作成し、忠実に実施した。	適					不適
5 地域貢献							
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	特殊な設備の保守点検委託を除き、市内の業者を優先指名した。	A	B	C	D	E	

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

- 1 会場の設営と後片付け、駐車場整理、早朝の区間外使用への対応等、利用者の便宜を最優先とする事業運営を行った。
- 2 軽易な修理はもとより、床材の張り替え等専門的な補修・修繕についても当センター従事者が行った。また、日常清掃についても清掃業者に委託せず当センター従事者が行い、経費節減に努めた。
- 3 新型コロナウイルスに対する感染予防のため、使用後の机・いすの消毒はもとより、手すり・ドアノブその他、人の手の触れる様な箇所の殺菌消毒を心がけた。
- 4 樹木の剪定、花壇の整備や除草を行い、常に良好な環境を保つように施設管理を行った。
- 5 求人情報、催物案内チラシ等を掲示し、雇用・文化関連の情報を提供した。
- 6 自主事業として、写真の展示やロビーで軽音楽を流し、施設内の雰囲気向上に努めた。また、ハローワークからの求人情報を来館者に提供し雇用創出に協力した。
- 7 接遇研修や職場内研修、自衛消防訓練を行ってスタッフ個々の能力を高め、施設利用者のサービス向上に取り組んだ。